■本間四郎三郎(光丘)　豪商，社会事業家。私財投じて最上川治水や防砂林など遂行，庄内藩財政再建請負い巨大地主化。
ほんましろうさぶろう
享保大飢饉・1732＝　_鎌倉時代の越後をルーツに，庄内酒田に移住して商人となり，分家ながら豪商となった本間家二代光寿の三男に生まれる。

・・・・・・1737＝ 5歳：この頃から，近くの寺の羽黒派修験の学僧について勉強。

・・・・・・1741＝ 9歳：
_ある時足軽にぞんざいな扱いを受け，武士になろうと決心。

徳川吉宗隠居1745＝13歳：

・・・・・・1750＝18歳：_姫路の豪商で塩問屋の奈良屋権兵衛のところに見習い奉公に出される。
徳川吉宗没・1751＝19歳：
_権兵衛は学者・文人との交流も多い立派な人物で，そのもとでみっちりと商法を学び，
薩摩藩工事・1753＝21歳：_酒田に帰る。
山脇東洋解剖1754＝22歳：*父が死去し，家督を相続して三代目当主になる。
自然真営道・1755＝23歳：_病弱であった二代目のもとで堅実な経営をし，大名貸し等で財を大きくしていた叔父宗久を義絶するが，金儲けでは不世出の才をもった宗久から，多くのことを学ぶことになる。風砂の害に悩まされていた庄内藩から要請されて，すでに豪商佐藤家父子が植林事業を始めていたが，
宝暦事件・・1758＝26歳：*父の遺訓と願い出て，最上川河口部の植林事業に参画，すぐれた知恵と粘り強い取り組みで，
大弐政治批判1759＝27歳：
大岡忠光没・1760＝28歳：藩主に大金を献じる。
・・・・・・1762＝30歳：_それまでできなかった松苗を根付かせることに成功し，藩から賞され，町年寄格に補せられる。
・・・・・・1763＝31歳：再び，藩主に大金を献じ，三十人扶持の準藩士扱いとなり，

_その後も植林を続け，子孫にも引き継がれて，大防風林になって行く。

明和事件・・1767＝35歳：_念願の士格に列し，小姓格となる。
久留米藩工事1768＝36歳：酒田，鶴岡両城普請掛を命じられ，備荒貯蓄米24000俵を献じる。
藩主の命で，酒田港口に灯台を建てたり，藩士の借財に便宜を図り，

この時期の他の藩と同様，_庄内藩の財政も窮迫していたが，
田沼意次老中1772＝40歳：_江戸大火で庄内藩邸が類焼，一層厳しくなった。そのため，

解体新書・・1774＝42歳：この年，江戸根岸に移住した叔父宗久は巨万の富を成す。
黄表紙始・・1775＝43歳：*藩主の命で，緊縮を強める一方，大量の貸し付けを実施したため，自らは巨万の富を築くものの，逆に藩財政を圧迫し，武士・農民の窮乏も深刻化し，一時遠ざけられるが，再び，藩主の命により，江戸御勝手御用掛を命じられ，財政再建の全権をまかせられ，財政再建案を提出し，大いに功績をあげる。
・・・・・・1777＝45歳：
源内獄中死・1779＝47歳：この年，高利を咎められて投獄されそうになった叔父宗久は田沼意次に賄賂を贈ってことなきを得る。

・・・・・・1781＝49歳：

田沼意次失脚1786＝54歳：父光寿の三十三回忌を機に，叔父宗久の義絶を解く。

・・・・・・1788＝56歳：_藩が富士川，大井川，安倍川の修治を命じられると，藩命で大阪の巨商から資金を借り入れて対応。

ﾗｸｽﾏﾝ来日・ 1792＝60歳：_北海の警備のために大砲10門を献上し，海防に資する。
松平定信引退1793＝61歳：
ｵﾗﾝﾀﾞ正月・ 1794＝62歳：隠居の身から中老に就任していた荏戸善政が来訪したのに対応し，鷹山の治績に貢献。
写楽・・・・1795＝63歳：

宣長没・・・1801＝69歳：_没した。

「人づくり風土記(山形)」，「この人どんな人」，インターネットWikipedia，